

ICT を活用した「未来型田舎」の創生について

日時：2023年12月14日（木）13:00～14:45

場所：農学部弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

(※7号館A棟114/115教室から変更しました)

講師：衣笠 愛之きぬがさ よしゆき（有限会社 夢前夢工房代表取締役）

要旨：兵庫県姫路市北部の中山間地域にて農地47haを活用して主食用米や小麦、大豆、野菜、いちごなどを栽培・販売するとともに、ICTを活用した農業や地域を巻き込んだ6次産業化、後継者育成といった多様な地域活動に取り組む衣笠愛之氏から、ご自身の経験やビジョンについて講演いただき、日本の農業・農村の将来を考える。

【衣笠氏のプロフィール】

- ・ 大学で畜産を学び、父の養鶏場に入る傍ら、約40aで稲を育てたが、周辺農家から耕作依頼が相次ぎ、1994年、専業農家になることを決意。99年に会社を設立。その後農地はみるみる集まり、2000年には耕作面積は27haに。06年には、就農希望者が住み込みで学べる施設を開設。09年農家レストラン「夢工房」、12年直売所「farm67」をオープンするなど農業を核とした地域づくりを行う。14年、農林水産大臣賞（法人経営部門）、兵庫自治賞受賞。
- ・ 圃場整備事業により130枚の田を25枚に大区画化し、パイプライン化、ターン農道、地下灌漑などを整備。耕作する農地では無人田植え機、ロボットトラクターの活用、リモートセンシングによる生育データ管理、ドローンによる農薬・堆肥散布など農作業のICT化を実現。

【開催形式】対面とオンライン聴講のハイブリッド形式

【問い合わせ先】：花田潤也（東京大学非常勤講師、農林水産省課長補佐）

E-mail：junya_hanada420@maff.go.jp

【申し込みフォーム】

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=_6DkBrJJi0qvMEVxNh0TRGnUKWbc0pZMq26esep0np1UMIhXTEpGSKZF0FY2TTVRV083V0U1UkdITC4u